

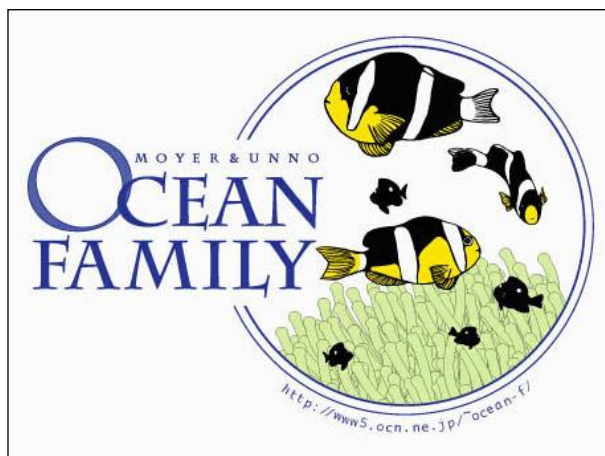


Ocean Family News

..... 海は楽しい 海はすばらしい 海は大切

2015
Summer
Vol.054

「子どもは海で元気になる！」



ヒトは海辺で進化したといわれています。『海の中はどうなっているのだろうか?』、『海の向こうには何があるのだろうか?』、恵み豊かな海辺でいろいろ想像し、知能を発達させた人類は、やがて世界に拡散していきました。自然の中での遊びと学びは、知徳体のバランスのとれた子どもの発育を促します。オーシャンファミリーは、海辺を中心に子どもたちの自然体験教育活動を通して、自然環境と社会を持続していくための力を養う子育て・子育て支援を行っています。

Contents

事務局からのお知らせ

コラム

われら海洋族

いきもの便り

編集後記



事務局からのお知らせ

葉山キッズプログラム 参加者募集中！

梅雨が明けたら、夏本番！今年の夏も海へ行きましょう！

さて、4月から始まった葉山マリンキッズ、葉山ニッパース、海・川・森のファミリー教室。

秋から一緒に活動する参加者を募集中です☆

興味のある方は是非、体験をしてみてください。

活動の様子はブログでもご覧になれます。

<<http://oceanfamilykids.blogspot.jp/>>

葉山マリンキッズ
月1回 土曜日

葉山ニッパース 週1回 放課後

ファミリー教室 月1回 日曜日





海と森、農とのつながり

代表理事 海野義明

海の環境が良くなるためには、川が、そして川につながる森、人の暮らしが海にとって良くならなくては。オーシャンファミリー海洋自然体験センターでは、一昨年より森の活動を積極的に開始しました。近い将来は、自然農法など自然にやさしい環境保全型の農業にも取り組んでいきたいと思っています。



オーシャンファミリー海洋自然体験センターでは、昨年度より葉山町と横須賀市にまたがる「湘南国際村めぐりの森」で、里山再生と森林整備活動の活動を始めました。ここでは、三浦半島自然ふれあい楽校グループ（三浦半島で自然・環境に関する11の団体連携）の一員として森林保全活動を行い、親子で、子どもたちへ、体験的な森とのつながりの第一歩を踏み出すことができました。今後は、薪や炭などの森林バイオマス活用、キノコ栽培などの食、木材利用など実際の森との暮らしの再生にも挑戦していきたいと思っています。



タケノコ掘り





われら海洋族

5月都内の女子大学生が参加した野山の体験活動で、クワの実を採って食べることができない学生がいました。食べる物は、お店でラップして販売されているもので、洗わないでは食べられない感覚になってしまっていたのです。現代の自然と人・社会のかい離現象の一端を見た思いです。深い問題意識を感じました。

地域で竹林整備活動を行うこと理由は、1には自然の物を採って食べ、自然の恩恵に感謝するという体験です。タケノコはすぐ採って食べられるので理解しやすいです。2には自然環境の保全（生物多様性の保持・再生）活動です。全国的に、特に三浦半島は放棄竹林が問題で、森がどんどん竹に浸食され在来の樹木が枯死減少しています。そうすると生物多様性も減少し、海への栄養塩の流入にも影響があります。間伐した竹の活用として、東日本被災地支援として、現地の牡蠣漁師の養殖いかだのために使用している竹を送ることで支援の輪を広げたい。牡蠣いかだもだんだんプラスチック製となってきたが、自然の物で作り利用した後はまた自然に戻るものを使ってもらえたらありがたい。

また、竹の利用としては、竹チップで農業用マルチや山野の歩道マルチにしたり、粉末にしてコンポスターに入れて土壌改良剤として利用する、竹炭利用や、竹薪にしてボイラーで燃すなど、バイオマス資源として様々な方向で竹の利用法を考えられる。竹を色々使って、適正な竹林管理ができていったらよいと思います。



農作業（ホーリーのバンブーフาร์ม作業）

海の良い環境になるためには、農薬を使わない、ダムを作らない、水を汚さないが必要。そのことを根底においた社会づくりや地域づくりをしていきたい。海だけでなく、自然全体を考えて活動していくことが大切だと思う。まずは、農業に関して活動をはじめたい。自然農法に取り組みたい。何種類かの段階があります。無施肥の不耕起農法とも耕さない雑草を取らない、雑草は剪定ばさみで切るのみ、耕起して植物質の有機肥料のみで行うなどの段階がある。動物性肥料を入れると有機農法となる。動物性肥料を使うと栄養過多になり虫がつきやすく、土が富栄養化となり、生態系に影響が出るとの話も聞く。いろいろ実践しながら取り組んでいきたい。

海を大切にできる社会の仕組み作りをしていくために、海とのつながりを一步一步良くしていきたいと思っています。



自然を楽しませてもらうという気持ち

のり（ボランティアリーダー）

あれもこれもと欲張って、トマト・ナス・ピーマン・カボチャ・スイカ・メロン・キュウリ・ニンジン・オクラ・パセリ…と狭い庭にプランターや植木鉢がびっしり並んでいる。欲張りなくせに、ずぼらな性格、ほったらかしに近い状態である。「ズボラ農法」である。植えてある木や草も、基本は放任。「伸びてきている枝が壁に当たってガサガサ音がする」というご近所からの苦情が出てからの剪定である。雑草抜きも、植えている植物にかなり影響がでそうになってからで、最低限である。そのお蔭で、蛙、蛇、蜥蜴のほか、様々な「虫」が生息している。農地だったら「害虫」とされるものも、ここでは生態系の一員とみなされる。「洗濯物の近くの枝に毛虫がいる」との苦情でしかたなく駆除（妻には内緒だが、殺さないでムシを移動させただけのことも何度かある）。毎年観察していると、ルリタテハ（食草＝ユリ科）、アゲハ（食草＝ミカン科）、キアゲハ（食草＝セリ科）、アオスジアゲハ（食草＝クスノキ科）などの発生は年ごとに大きく違うことに気づく。食草量は大きな変動はないのだから不思議な面白い現象だ。オタマジャクシの生き残り数は、今年は少ないようだ。これは、去年、トンボがたくさん飛来したことと関係があるだろうと推測している。今年は、どんな生きものがどのくらい発生するか、楽しみだ。



☆われら海洋族は、会員みんなで作るページ！原稿大募集中♪

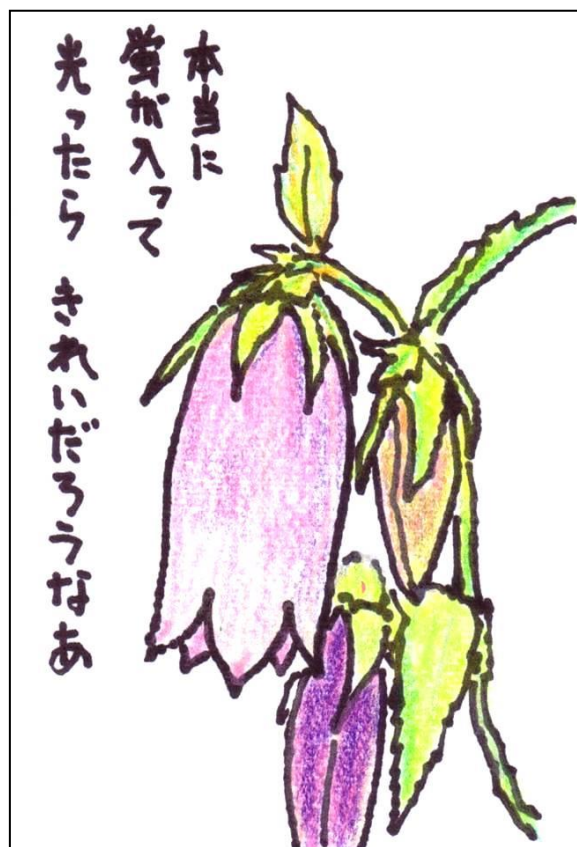
興味のある方は、事務局（☎046-876-2287 ✉info@oceanfamily.jp）までお問合せ下さい。



われら海洋族

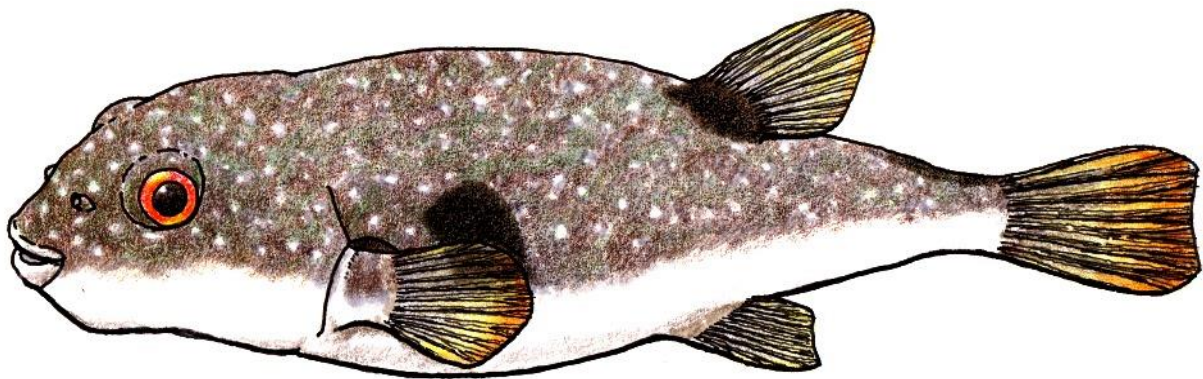
さて、逗葉新道を挟んで我が住宅地の向かい側の山々（二子山山系、森戸川流域）の自然のこと。こちらは、本当に自然豊かである。常緑広葉樹・落葉広葉樹・常緑針葉樹、高木・亜高木・低木と、多種多様な木々(林道沿いだけで約100種類)が茂り、林床植物も多い。そのため、これまた大小さまざまな動物が生息している。どの生きもの一つでも欠けると、きっと生態系のバランスが崩れるのでは…と思う。その自然に触れるために、多くの人が訪れる。目的は異なるが、自然が好きという点では共通である。が、しかしである。自然全体や自然を楽しむ様々な人がいることを忘れ、自分の目的以外のものを軽視・配慮なしは困る。「ハイカーびっくりマウンテンバイク」「希少植物根こそぎ採取」「川原で焚火(裸火)」「愛犬リードはずし」「たばこプカプカそのあとポイ捨て」「巣の近くで長時間の野鳥撮影」「林道や山道の路肩を崩しながらの疾走トレイルラン」「懐中電灯を明るく照らしながらのホタル観察」等々。周りの自然や人のことをちょっと考えるだけで、みんなが楽しく過ごせる空間なのに、とっても残念。

海辺でも同じ。これから夏本番。海水浴・磯遊び・ビーチコーミング・スノーケリング・ダイビング・SUP・カヤック・サーフィン・ウインドサーフィン・アウトリガーカヌー・サバニ・ジェットスキー、釣り…。規制やルールがなくても、海という環境を理解し、漁業者の方々や、海を楽しむすべての人に思いをさせ、一人ひとりの心がけとマナーで、アウトドアを楽しめる葉山町であってほしい。





(イラスト・吉田健太郎)



クサフグ

フグ目フグ科。

全国の浅い海にいる、よく見かけるフグ。沿岸の砂地をスノー(シュノー)ケリングしていると、砂の中から

ピュンピュン飛び出てくることも。河口付近にも多く、川をそのまま遡ったりもする。

初夏の大潮に波打ち際に群れで押し寄せて産卵する。産卵は1時間程度続き、激しい音と臭いを伴う。

皮と内蔵に毒がある。地域によっては日常的に食べられているが、専門知識がないと調理はできないので要注意。



ホタルブクロ

キキョウ目キキョウ科。

ちょっと日陰の道ばたや民家の庭などに生えている。

花は白やピンク、薄紫など濃淡さまざま。多年草で、冬は地上部が枯れて無くなり、根だけで越冬する。春になると地上に茎を出し、初夏に花を咲かせる。

ちょうどホタルが飛びはじめる頃に花が咲くので、花の中に光るホタルを入れてちょうちんのように持つ遊びもある。



夏のイベント情報

SUP チャレンジ!

小さなお子様も

パパやママと一緒にチャレンジ!

7/5 (日)・12 (日)・18 (土)・19 (日)

8/1 (土)・9 (日)・16 (日)・23 (日)

10:00~12:00

※ 7/18のみ9:00~11:00



シーカヤック & 磯の生きもの観察

7/18 (土)・19 (日)

8/2 (日)・8 (土)・16 (日)・23 (日)

10:00~12:00

※ 7/18のみ9:00~11:00

海の日!
7/20(月・祝)

10:00~12:00

13:30~15:30

津波防災 親子海辺の安全教室

~自分の身は自分で守ろう! 災害(津波)時の対応にも~

海を楽しもう!

Eボート・ボード体験 (1,000円/親子)

7/23(木) スペシャル!

スノーケリング&
スキndaイビング講習

~海中生物観察のための一歩~

10:00~12:00

7/22(水)・31(金)

SUP&ニッパーボード
&海の中の生きものを覗こう

10:00~12:00



ボランティア
募集中!

8/5(水)・6(木)

シーカヤック&
磯の生きもの観察

10:00~12:00

8/13(木)・14(金)

スノーケリング&
魚の観察

10:00~12:00

平日 SUP (体験・スクールあり)

6/23 (火)・24 (水)・30 (火)

7/1 (水)・7 (火)・8 (水)・14 (火)

10:00~12:00

※他の日程をご希望の方は要相談、
グループでのオプションもあります。



週末 SUP

7/5 (日)・19 (日)

8/1 (土)・9 (日)・16 (日)・23 (日)

13:30~15:30

問い合わせ・申込先

NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター

事務局・葉山セミナーハウス: 046-876-2287

海野: 090-4727-9286

info@oceanfamily.jp http://oceanfamily.jp





リーダー・ボランティア募集

2015年6月～9月

| 開催日 | プログラム | 参加条件ほか |
|-------------------|---|--|
| 6/27(土) | 海辺の自然体験ボランティア指導者研修(海辺の安全指導法) | 集合: 葉山セミナーハウス 対象: 子どもが好きな方・ NEAL(CONE)リーダー・ ライフセーバー・ ダイビングインストラクター・ シーカヤックインストラクター 担当: 海野佳子 ※詳細は事務局まで お問い合わせください。 |
| 7/4(土) | 海辺の自然体験ボランティア指導者研修 (スノーケリング技術と海洋生物観察法) | |
| 7/11(土) | 葉山マリンキッズ「海辺の安全と生きもの観察」 | |
| 7/12(日) | 海・川・森のファミリー教室「シーカヤックで魚釣り」と魚介料理②」 | |
| 7/18(土) | HAYAMA 海の学校(カヤック体験) | |
| 7/20(月) | 親子海辺の安全教室 | |
| 7/21(火) | ハイジの会(知的障害者プログラム・カヤックとEポート) | |
| 7/25(土) ～27(月) | ネイチャーキッズ 2泊3日 | |
| 7/29(水) | 木の下チビッコ子ども会(磯の生きもの観察&スノーケリング) | |
| 8/10(月) ～11(火) | 葉山マリンキッズ スノーケリングキャンプ | |
| 8/17(月) | ゆきわりそう(知的障害者プログラム・カヤックとEポート) | |
| 8/18(火) ～20(木) | ネイチャーキッズ 2泊3日 | |
| 8/22(土) | 松竹 | |
| 9/6(日) | 葉山マリンフェスタ | |
| 9/13(日) | HAYAMAN2015 | |
| 9/19(土) | 葉山マリンキッズ「スノーケリングで海中の生きもの観察②」 | |
| 9/20(日) | 海・川・森のファミリー教室「シーカヤックで魚釣り」と魚介料理③」 | |
| 9/26(土) | 海辺の自然体験ボランティア指導者研修 (シーカヤック&スノーケリング指導法) | |

Postscript

相模湾で磯焼けが話題になっている。磯焼けとは、岩場に生える海藻が死んで無くなってしまふ現象で、原因としては海水温の上昇による栄養の変化や、それに伴うウニや海藻を食べる魚の激増などが考えられている。人間の生活による汚染もそのひとつ。数年前から横須賀の漁業者による磯焼け対策として、ウニの駆除が行われている。去年はイベントでガンガゼの試食がふるまわれ、先日は漁協の朝市でムラサキウニが1個100円で焼きウニとして販売され、長蛇の列ができていた。完全に海藻が無くなってしまふと、ウニやアワビ、サザエなど海藻を食べて生きている動物もいなくなってしまう。磯焼け対策の研究は以前からされていて、成果も確認されている。相模湾でも深刻化しないことを願う。(み)



発行者: NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター 〒240-0116 神奈川県三浦郡葉山町下山口1741

TEL: 046-876-2287 FAX: 046-876-2297 E-mail: info@oceanfamily.jp HP: http://oceanfamily.jp/

Copy Right Ocean Family Club. All Right Reserved.